

ライフデザインセミナーのご案内

第一生命経済研究所では、生活に関するノウハウと研究成果をいかして、独自の「ライフデザインプログラム」を開発し、企業ごとにカスタマイズした完全オーダーメイド型セミナーをご提供しております。

老後の三大不安と言われる「生きがい」「家庭経済」「健康」の三つの柱をテーマとした実践的なセミナーです。事業開始以来、13万名を超える皆さまに受講いただきました。

マネーデザイン（家庭経済設計）

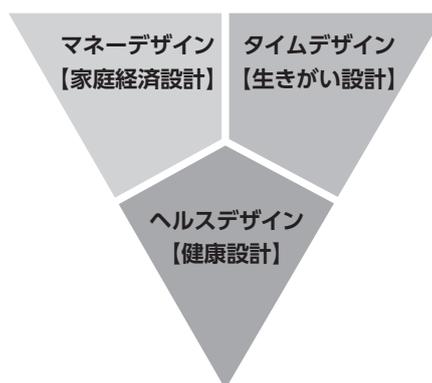
- 公的年金のしくみ
- マネーデザインの考え方と生涯収支
- マネーデザインプランシートの作成
- 資産運用のスタンス など

タイムデザイン（生きがい設計）

- 退職後の時間の過ごし方
- 趣味・夫婦の関係・友人との関わり
- 地域との関わり、ボランティア活動 など

ヘルスデザイン（健康設計）

- 介護の悩み
- 生活習慣病対策
- ストレスケア
- 気楽にできる筋トレ・ストレッチ など



お問合せ先

第一生命経済研究所

ライフデザインセミナー事業部

電話：03-5221-4783

受付時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00

* 祝日・年末年始を除く

○ビデオ撮影やTV会議などの中継はご遠慮いただいております。

○従業員様を対象としたセミナーです。お客さま向けイベントなどでのご利用はお断りしております。

編集後記

2018年も既に折返し地点にきた。相変わらず世界はトランプ大統領に振り回されている感じだ。貿易不均衡改善に向けて容赦のない要求をテーブルに乗せて交渉を迫り、イスラエルの米大使館の移転決定、イラン核合意からの離脱表明と、本当にやるの?ということを実行し、米朝首脳会談開催に合意しながら一転中止表明、その後やっぱり当初予定通りの開催を決定(この原稿執筆時点では再々度の中止!みたいな話にはなっていないが...)。言うことも大きく変わってきた。一連の報道を見てトランプさんはやっぱりトランプさんだと妙に納得している人が多い気がする。

事前にはそんなことしたら大変な事になるという論調も多かったが、実際に動き出してみると反発はあるものの言うほど凄いいことになっているわけでもない。そう思わせるのは為替市場や株式市場が安定しているからだろう。なんやかんや言ってもトランプ大統領は“America First”、“Make America Great Again”。アメリカ経済が悪くなるようなことはしないし、悪くなりそうなら躊躇なくそれまでの政策を変えるというある意味信頼があるということだろうか。そんなことではなく、単に足元の経済が好調なうちは「音楽が鳴っているうちは踊り続けなければならない」だけなのかもしれないが。

いずれにしても日米欧とも足元の経済はモメンタムのピークを越えたと思うがまだ音楽は鳴っているし市場も踊る気満々。こんなときこそ、長期的課題にしっかり手をつける絶好のチャンスだと思うのだが。早くしないと誰もいなくなって何もできなくなる。(H.S)